

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

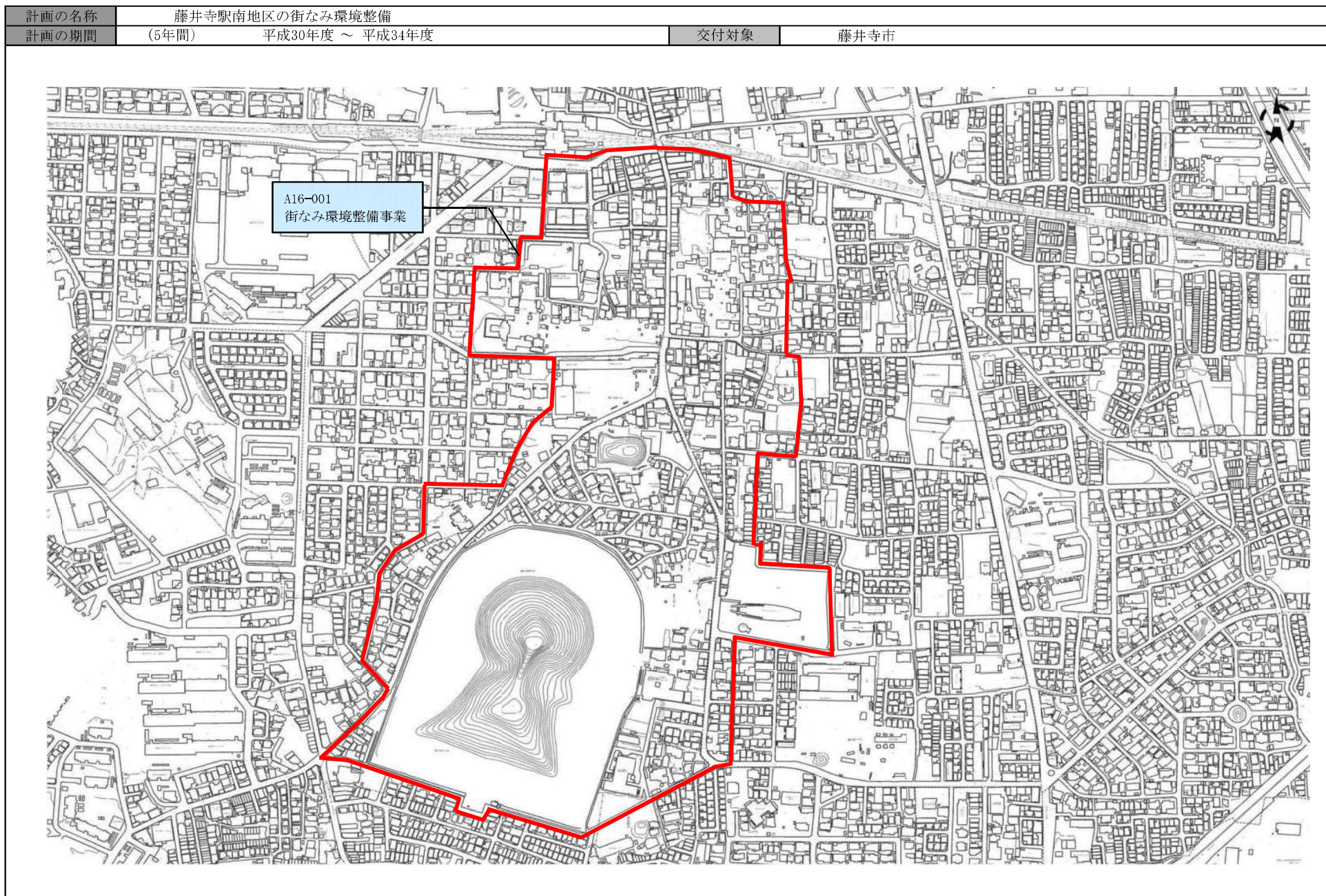
計画の名称	藤井寺駅南地区の街なみ環境整備												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	藤井寺市												
計画の目標	歴史的なまちなみを保全・再生することにより、良好な街なみ環境を創出するとともに、来訪者がまちの魅力を感じられるまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	221	A	221	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	藤井寺駅南地区の歴史的景観を保全する区域における景観やまちなみの総合的な満足度 事業地区を中心とした市民に対するアンケート調査	13%	%	33%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考											H30	H31	H32	H33	H34					
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	藤井寺市	直接	藤井寺市	—	—	街なみ環境整備事業 (藤井寺駅南地区)	道路美装化等 (藤井寺駅南地区32.4ha)	藤井寺市	■	■	■	■	■	221	5.15	—			
		間接を含む																				
											小計						221					
											合計						221					

(参考様式3) 参考図面

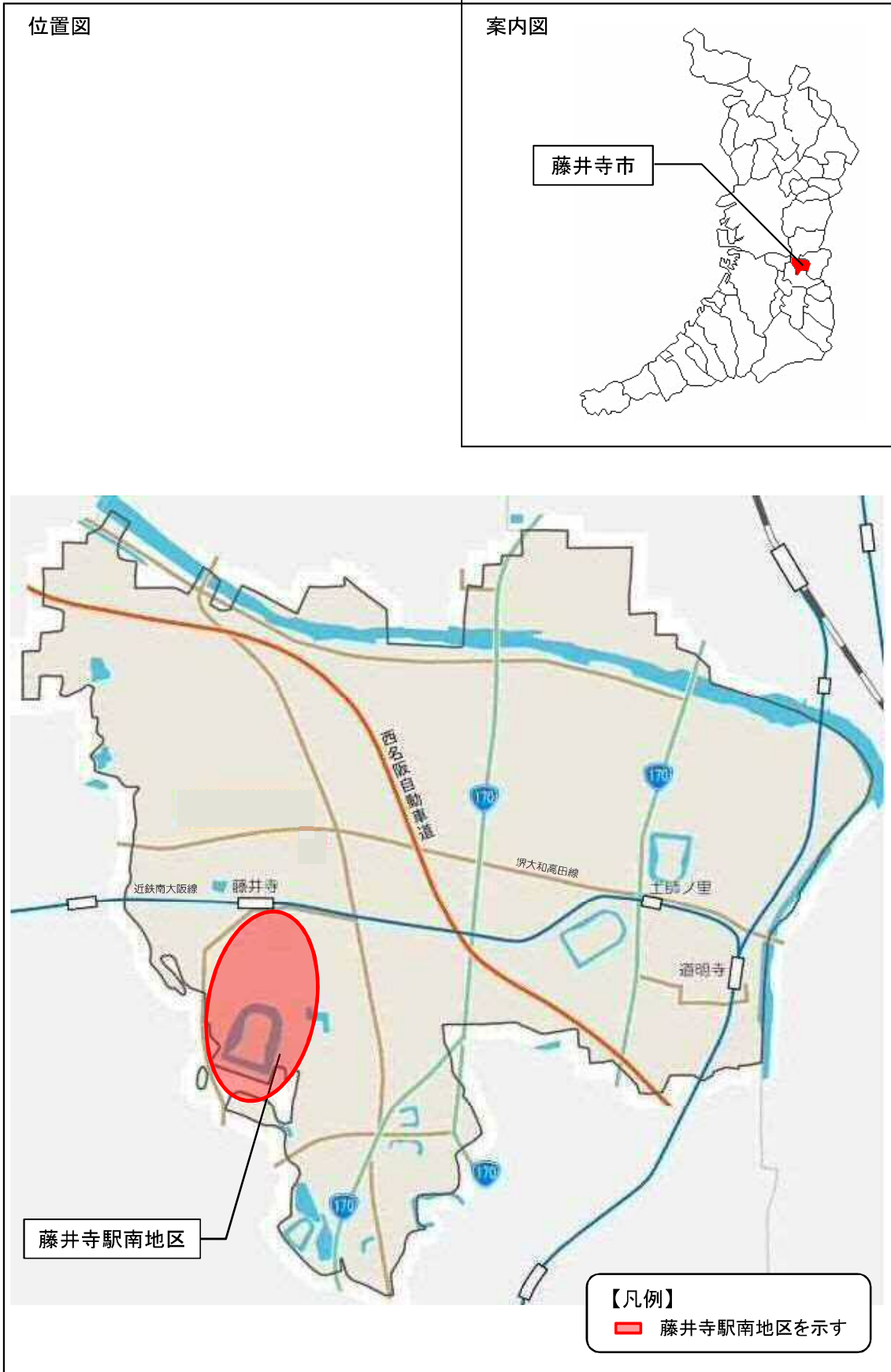


街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	大阪府	市町村名	藤井寺市	区域名	藤井寺駅南 地区	
区域現況	区域の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・本区域は、中心市街地にあたる近鉄藤井寺駅の南に位置し、広さは約 32ha である。 ・世界文化遺産登録を目指す古市古墳群の仲哀天皇陵や西国 33 箇所の 5 番札所の葛井寺、辛國神社などの歴史文化資産がある。 ・藤井寺市景観計画において、市域の全てが景観計画区域であり、さらに景観形成の重要性の高い地区に位置づけられている古市古墳群景観形成地区、藤井寺駅周辺市街地景観形成促進区域に本区域が含まれている。 ・本区域は駅南側が商店街、その他は住宅街といった土地利用となっている。住宅は 2 階建てを中心に低層住宅が主である。 ・昨今の社会経済や世代交代・ライフスタイルの変化等を背景に空き家の発生や新しい建築様式が徐々に混入しつつある。 				
	道路の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の中心部で南北を縦断する主軸道路は幅員約 6m、その他の生活用道路は幅員 4m 以下となっている。 				
	公園等の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・区域内には 2 ヶ所の公園（「ブクンダ公園」、「てんとう虫児童遊園」）があるが小さく、歴史資産をモチーフとした市の象徴的な公共施設を多くの人々が憩いの場として利用している。 				
	地区住民のまちづくり活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度から街なみ保存と街づくり活動を目的とした協議会の設立に向け、勉強会を実施している。 ・千日まいり（葛井寺）や夏祭、秋祭（辛國神社）といった地域の祭りがコミュニティ形成の大きな役割を担っている。 				
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	<p>当該地区は、世界文化遺産登録を目指す古市古墳群や葛井寺、辛國神社などの歴史文化資産があり、古道（大坂道）沿いの集落には旧観を残す古い街並みがあることから、これらと調和した歴史的景観の保全・整備を図り、地域の歴史を次代に継承しつつ、生活環境の向上を目指し、商業や観光の側面からも、地域の活性化につなげていく。</p>				
	整備の時期	平成 30 年度から平成 34 年度までの 5 ヶ年				
	地区施設等の整備に関する基本事項	道路等	<ul style="list-style-type: none"> ・区域内の道路について、周辺の街なみに配慮した修景整備を図る。 ・周辺地区と接続部に歴史要素を取り入れた案内板を整備する。 			
		小公園等	_____			
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資産をモチーフとした藤井寺市公共施設で、景観地区の認定基準及び公共施設景観ガイドラインに適合するよう、外観修景の整備を行い、観光・交流の拠点としての強化を図る。 			
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある古民家等の歴史的財産を残し、地域の特性を残しつつ、地域の活性化を目指したまちづくりを推進する。 ・民間住宅で外観を歴史的街並みに合わせた修理・修景する場合、その経費の一部を助成する。 			
敷地		_____				
その他の事項						

街なみ環境整備事業 説明図

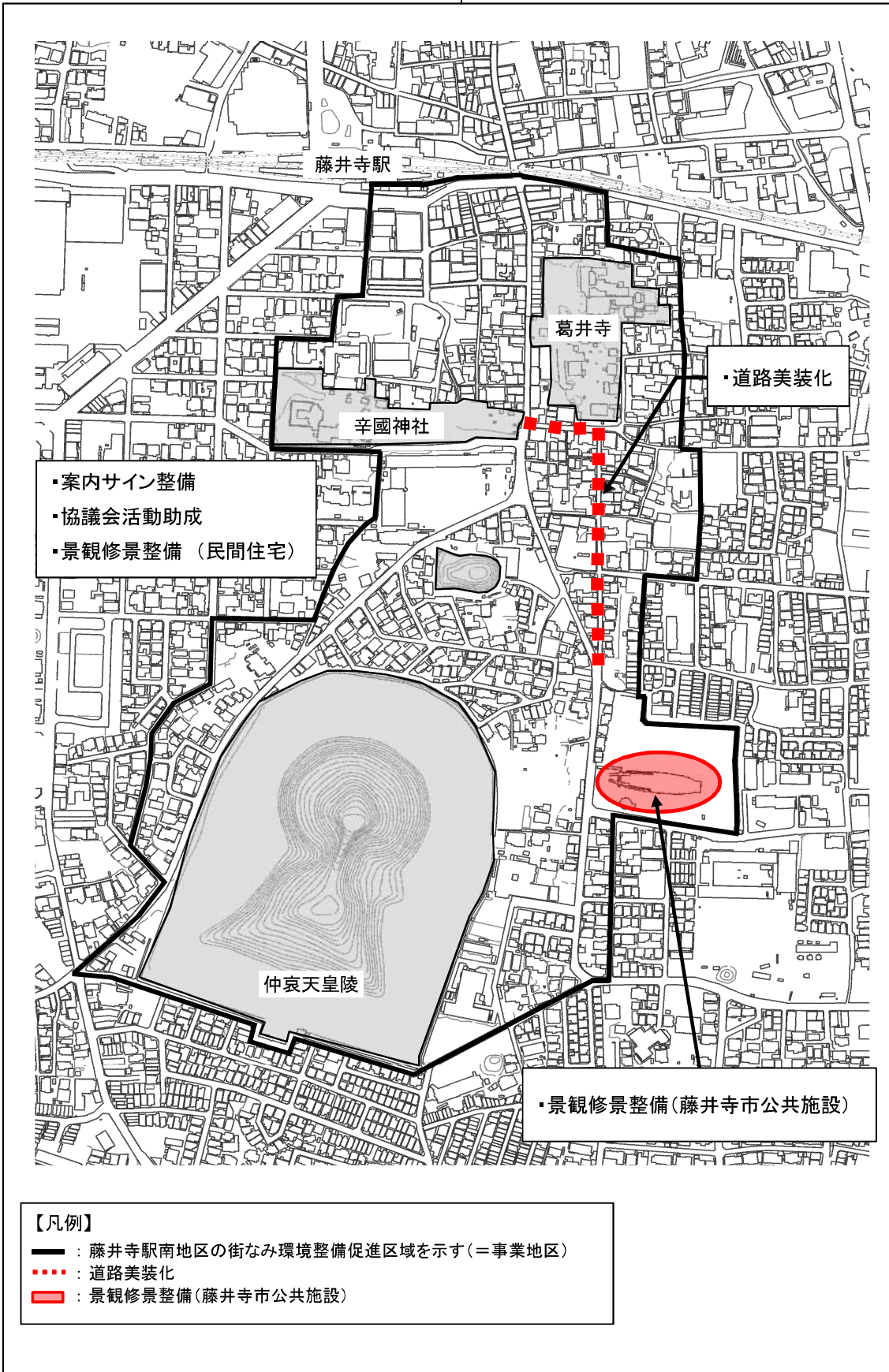
①案内図・位置図



②整備地区計画図(整備方針図)

藤井寺駅南

地区



事前評価チェックシート

計画の名称： 藤井寺駅南地区の街なみ環境整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①関連計画等との整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性 ②地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 ③地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（地域の特色ある街並みの整備）	○
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑤地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②計画内容に関し、関連地方公共団体や住民に理解が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 ③事業実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	